

5. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング（株））

（ - : 回答が存在しない、 : 主だった回答等が存在しない）

分野	景気の現状判断	業種・職種	判断の理由	追加説明及び具体的状況の説明
家計 動向 関連	良く なっている やや良く なっている	百貨店（売場主任）	お客様の様子	・9月中旬に改装し、客の出入りがスムーズになったため、平日の夕方は来客数が多くなっている。主に40代、50代の客が売場に戻ってきている。
		百貨店（企画担当）	販売量の動き	・数か月前は全分野の売上が不調であったが、食料品を始めとした比較的低単価の商品は復調している。特に食料品の物産展への注目が高い。婦人服も、20代向けのヤングファッションを中心に復調の兆しがある。しかし、高額品は、引き続き大きく売上を減らしている。
		衣料品専門店（販売企画担当）	販売量の動き	・目立って売れている商品はないが、売上や取引先の商品の動きを見ると、やや良くなっている。
		旅行代理店（経営者）	販売量の動き	・原油価格の高騰が一段落し、燃油サーチャージを値下げする航空会社が出ていることから、旅行業界にとっての逆風は収まりつつある。
		テーマパーク（職員）	来客数の動き	・東海北陸自動車道の全通以降、交流人口が増加しているため、来客数が増えている。
		美顔美容室（経営者）	販売量の動き	・ホームケアセットのキャンペーンにより、販売量、売上共に増加している。
	住宅販売会社（従業員）	販売量の動き	・今月は、この3か月間では一番契約数が伸びている。しかし、例年に比べると減少している。	
	変わらない	一般小売店〔酒類〕（経営者）	お客様の様子	・既存の取引先の飲食店の動きに変化はないが、新規開業の店からの引き合いは増えてきている。
		一般小売店〔土産〕（経営者）	お客様の様子	・依然として、必要最低量を慎重に考えて購入する客が多い。
		百貨店（企画担当）	お客様の様子	・来客数は伸び悩んでいるものの、客単価や購入額は伸びている。量より質を重視する、賢明な消費動向がうかがえる。その一方で、安価品の動きも激しい。身の回り品などでは、極力出費を抑えようとしている。
		百貨店（売場主任）	お客様の様子	・ポイントアップの優待セール時の売上は良いが、通常営業日の売上はかなり減少している。客は買物時期を慎重に選んでいる。
		百貨店（販売担当）	お客様の様子	・客の購買意欲はやや上向いている。しかし単価は低く、支払い方法もボーナス払いが例年より多く、日々の暮らしは楽ではない様子である。
		百貨店（販売担当）	販売量の動き	・販売量はまずまずであるが、客単価はかなり低下しているため、売上増加には至っていない。客はシビアに品定めしている。
		スーパー（総務担当）	来客数の動き	・来客数、客単価共に横ばいである。
		スーパー（仕入担当）	お客様の様子	・食品価格の高騰が続いているが、生活防衛のための買い控えは一段落しており、前年並みの動きとなっている。しかし、衣料品や雑貨類は、依然として前年割れの厳しい状況が続いている。
		コンビニ（エリア担当）	それ以外	・タスポ効果が続いており、売上は引き続き増加している。
		コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・タスポ効果で売上は前年比108%と好調であるが、たばこ以外の一般商品は前年割れで、利益はそれほど上向いていない。
		コンビニ（店長）	販売量の動き	・タスポの導入以来、たばこの売上が順調であったが、9月半ばからは落ち着いている。売上も伸びなくなり、元に戻りつつある。
		家電量販店（店員）	販売量の動き	・テレビ、パソコンの動きは引き続き堅調である。
乗用車販売店（従業員）		販売量の動き	・販売台数は、引き続き前年比で大幅に減少しており、目標を達成できる見込みがない。会社全体でも、販売台数は減少している。	
乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・ガソリン価格の高騰などの影響で、自動車販売は良くない状況が続いている。		
一般レストラン（経営者）	単価の動き	・引き続き、来客数がどんどん減少している。		

	一般レストラン (経営者)	来客数の動き	・気候が良くなり、週末には行楽帰りの団体客が入るようになっている。しかし、平日の夕方からの客足が、減少傾向にある。
	一般レストラン (従業員)	来客数の動き	・ガソリン高と商品の再値上げにより、家計は圧迫されている。来客数、客単価共に、引き続き悪化している。
	観光型ホテル (販売担当)	来客数の動き	・個人客の減少対策として、団体客の誘致に努めている。その結果、来客数はカバーできたものの、利幅は薄くなっている。また、一般宴会、婚礼宴会が引き続き足を引っ張っており、売上は前年割れしている。
	タクシー運転手	来客数の動き	・繁華街の人出が減っているため、タクシー客も減っている。法人利用の場合も、予定のキャンセルが増加しており、引き続き厳しい状況である。
	その他サービス [介護サービス] (職員)	それ以外	・仕入費用と管理費用の増加により、厳しい状況が続いている。
	住宅販売会社 (従業員)	販売量の動き	・総合建設業の受注量は、大きく変化していない。鉄材料の値上がりも、今は少し落ち着いている。
やや悪くなっている	商店街(代表者)	販売量の動き	・食品業界では不祥事に伴う風評被害が激しく、売上は増加していない。
	商店街(代表者)	販売量の動き	・ガソリン高、週末の台風、事故米問題に伴う風評被害等々が続ぎ、一段と悪くなっている。
	一般小売店[生花](経営者)	単価の動き	・客単価は明らかに低下しており、ギフト商品も安く見栄えが良い物を望む客が増えている。
	一般小売店[酒類](経営者)	お客様の様子	・売上は増加傾向にあるが、原材料や光熱費の値上がり分を一部の商品に転嫁したためであり、利益は横ばいである。消費者物価はこれから更に上昇すると報道されており、客は慎重な買い物を続けている。
	一般小売店[薬局](経営者)	単価の動き	・8、9月と、売上はかなり落ち込んでいる。客の購入単価は低いが、安売りしても購入してくれない。
	一般小売店[贈答品](経営者)	お客様の様子	・客は付き合いの範囲を絞り込んでおり、贈答品の購入も減っている。
	一般小売店[土産](経営者)	お客様の様子	・ガソリン価格の高騰は一段落しているが、米国のサブプライムローン問題の経済不安が、消費意欲を損ねている。観光に訪れても出費を抑える傾向が、客単価や購買力に表れている。
	一般小売店[自然食品](経営者)	お客様の様子	・年4回実施するセール期間中の売上は今までのセールと変わらなかったが、セール期間中以外の買物は安いスーパーなどへ流れている状況である。
	百貨店(婦人服販売担当)	単価の動き	・来客数、客の来店頻度は前年とほとんど変わらないが、買上単価は前年比で70%ほどに落ちている。
	百貨店(販売担当)	競争相手の様子	・ポイントアップや割引の実施回数を従来よりも増やすと、売上は一時的に増加するが、月の売上に大きな変化はない。その上、反動により、利益の減少や割引前後の売上、来客数の減少が発生し、効率の低下や店頭スタッフのモチベーションの低下という悪影響が出てしまっている。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・客は単価が高い牛肉を避けていて、鶏肉や豚肉の購入が増加している。お買い得商品を選ぶ傾向が強いので、粗利益が悪くなってきている。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・客の様子や卸売の状況を見ても、商売の調子は良くない。
	スーパー(経営者)	お客様の様子	・客の消費意欲が良くないうえに、雨の日も多く、両方で悪くなっている。
	スーパー(店長)	販売量の動き	・単品単価は上昇しているが、買上点数が増えておらず、客単価は上昇していない。売上は若干伸びているが、良い状況ではない。
	スーパー(店員)	来客数の動き	・来客数は、前年比92%に減少している。
スーパー(営業担当)	販売量の動き	・販売点数は大きく減少している。生活に対する圧迫感が消費に影響している。	
コンビニ(経営者)	販売量の動き	・ビール類の売上が、前年実績を下回っている。そのマイナス分をたばこの売上でカバーしているが、全体の消費が伸びているわけではなく、価格競争で客の奪い合いをしているだけである。	

コンビニ（店長）	販売量の動き	・たばこの売上は順調であるが、酒類のディスカウント店が近くにあるせいか、酒類の売上は落ち込んでいる。客は価格に敏感になっている。
コンビニ（企画担当）	単価の動き	・来客数の動きは比較的堅調であるが、客単価がわずかに前年割れしている。
コンビニ（商品開発担当）	販売量の動き	・タスポ効果で売上は伸びているが、伸び率は鈍化してきている。
衣料品専門店（売場担当）	お客様の様子	・9月下旬に気温が下がったことで、防寒衣料が前年より早く動き出している。しかし、そのような必需品以外の購買意欲は低い。
衣料品専門店（企画担当）	来客数の動き	・売場担当の話では、来客数が減ってきている。また、ガソリン価格の高騰のためか、郊外型ショッピングセンターで展開する店舗が厳しい状況である。
家電量販店（店員）	販売量の動き	・大雨の影響が残暑がそれほど厳しくないためか、夏物家電の落ち込みが早い。オリンピックの終了後は、全体的に動きが鈍い状況である。
乗用車販売店（経営者）	お客様の様子	・ガソリン価格は少し下がったが、部品代等は値上がりしているため、全体的に財布のひもは固い。
乗用車販売店（経営者）	販売量の動き	・販売不振が続いている。新型車は出たものの、販売増にはつながっていない。市場全体に閉そく感がある。
乗用車販売店（従業員）	来客数の動き	・9月は上半期の決算期なので、本来ならば来客数、販売量共に増加するが、今年は全く振るわない。販売量は前年比70%ほどである。販売車種も維持費の安い小型車に限られ、収益的にも苦しい。また、点検代や車検代を少しでも削ろうと、見積明細で必要項目を厳選する客が増えている。
住関連専門店（営業担当）	販売量の動き	・個人住宅は、建築確認申請の問題が落ち着いて、新築物件が増えてきている。しかし、民間投資のビルやオフィス、工場、公共工事が減少している。
その他専門店【貴金属】（店長）	単価の動き	・様々な日用品の値上げにより、消費は冷え切っている。特に高額商品の売上は伸びていない。また、客単価を上げている客層と下げている客層とに、二極化している。
その他専門店【雑貨】（店員）	来客数の動き	・8月に集中豪雨があったためか、台風が来る度に来客数が激減している。また、今年は冷え込みが早いので、アパレル系は好調であるが、趣味の雑貨系の動きは良くない。
スナック（経営者）	来客数の動き	・人事異動の時期で送別会の客があるが、例年と比べて二次会は減っているようで、団体客も減っている。売上は、前年同月比で3%ほど減少している。
その他飲食【仕出し】（経営者）	販売量の動き	・原材料高にもかかわらず、販売価格はどこも安くしているため、経営は非常に圧迫されている。
観光型ホテル（経営者）	来客数の動き	・来客数は、前年同月比95%と伸び悩んでいる。
都市型ホテル（経営者）	単価の動き	・客は宿泊価格に敏感になっており、予約の際に価格面で折り合わないことが増えている。
都市型ホテル（支配人）	来客数の動き	・宿泊販売数は、前年同月比で大幅に減少している。忘年会の受注も鈍い状況にある。
都市型ホテル（営業担当）	お客様の様子	・米国の金融不安のため、外資系の金融、証券会社の利用が落ちている。
旅行代理店（経営者）	競争相手の様子	・燃油サーチャージ高、中部空港の減便、自動車製造関連企業のコスト削減などが重なり、厳しくなっている。
旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・燃油サーチャージの影響で、海外旅行の需要が減少してきている。
タクシー運転手	お客様の様子	・今までは金曜日や若者の多い土曜日は比較的良かったが、今月は減少している。
通信会社（企画担当）	販売量の動き	・新規契約の減少、解約の増加、低価格メニューへの移行などがあり、状況は一段と悪くなってきている。
通信会社（サービス担当）	販売量の動き	・光ファイバー回線の販売は、以前ならば月平均14.5件であったのが、最近は10件未満になっている。
観光名所（案内係）	お客様の様子	・どこの飲食店でも、客の来店回数は4分の1ほどに減っているように見受けられる。
テーマパーク（職員）	お客様の様子	・来場者数は、月を追うごとに減少している。

	ゴルフ場（企画担当）	来客数の動き	・ここ数か月はそれほど悪くなかったが、今月に入り、来場者数、売上共に前年同月や目標に対して下回っている。
	美容室（経営者）	来客数の動き	・来客数は前年同月比で7割ほど減少しており、客単価も低下している。
	住宅販売会社（企画担当）	お客様の様子	・年配客の中には、年金問題もあり様子見の客が多い。
	その他住宅投資の動向を把握できる者〔工務店〕（経営者）	お客様の様子	・広告を出しても問い合わせはなく、来客数も減少している。また、客は情報収集に余念がなく、すぐの契約にはならない状況である。
悪くなっている	商店街（代表者）	来客数の動き	・値上がりした商品が多く、消費は落ち込んでいる。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・生活必需品の値上がりに伴って、当店が扱う国産の耐久消費財では買い控えが進んでいる。また、量販店が扱う安い輸入品に客が流れるケースも増えている。
	商店街（代表者）	販売量の動き	・事故米の問題以降、和菓子業者は非常に厳しい状況にある。来客数の減少はもちろん、来店した客からも大丈夫かと確認される。
	一般小売店〔時計〕（経営者）	来客数の動き	・客単価が大きく低下している。
	百貨店（外商担当）	お客様の様子	・新規開業した近隣のホテルで宝石の展示会を催した際には、予定を大きく上回る来客数と売上があった。しかしその後、店頭で同じ展示会を催したところ、来客数、売上は共に予定を大きく割り込んでおり、トータルではマイナスである。
	スーパー（店長）	単価の動き	・客単価の前年割れが続いている。余分な物は買わない、特売にならないと買わない、安ければ品質が多少落ちて我慢するという傾向がある。加えて、少量、適量を買いたいという傾向が出てきており、客単価は低下している。
	コンビニ（エリア担当）	販売量の動き	・これまではタスポ効果で好調であったが、今月はたばこの売上が伸び悩んでいる。他の商品の売上也減少傾向にある。
	衣料品専門店（経営者）	単価の動き	・来客数は例年並みであるが、単品買いが多い。靴、バッグを購入する際に、付属品等をついでに買うという人はほとんどいない。
	家電量販店（店員）	来客数の動き	・買い控えが広がっており、来客数は減少に転じている。その背景として、自動車製造業の各企業が残業をなくしているため、所得が減っていることが挙げられる。
	乗用車販売店（経営者）	単価の動き	・客の予算が極端に下がっている。希望する車と予算との間のギャップが大きくなっており、購入を見送ったり、再考したりする客が増えている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・月前半までは、大きな販売企画の実施により、販売に勢いがあった。しかし企画の終了と同時に、販売は減少している。今月の販売台数は、前年同月比で10%ほど下回っている。また、販売車種も小さく販売単価が低い車種に移行してきているため、利益は非常に小さくなっている。
	乗用車販売店（従業員）	販売量の動き	・とにかく売れない。ガソリン高が最大の要因である。
	高級レストラン（スタッフ）	来客数の動き	・全曜日、来客数の大幅減少が続いている。特にディナータイムの来客数の減少が著しく、客単価も低下している。
	一般レストラン（経営者）	来客数の動き	・来客数が減少している。夜11時以降は繁華街の人通りも少なく、閑散としている。
	旅行代理店（従業員）	販売量の動き	・来客数が激減しており、一日の売上が目に見えて少なくなっている。待ちの営業から外商にシフトせざるをえない状況に来ている。
	パチンコ店（経営者）	販売量の動き	・来客数が大幅に減少している。
	美容室（経営者）	競争相手の様子	・美容院が増えたこともあり、客は他へ流れている。
理容室（経営者）	お客様の様子	・相変わらず客の回転が悪い。	
住宅販売会社（従業員）	競争相手の様子	・同業他社の倒産等により、その下請業者など取引先の経営も悪化してきている。	

企業動向関連	良く なっている	窯業・土石製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・売上は前年同月比で8.4%増加しており、これまでの赤字が改善されている。
	やや良く なっている	金属製品製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・建築着工件数が徐々に回復しているため、受注量は以前と比べて増加している。
	変わらない	化学工業（企画担当）	受注量や販売量の動き	・原油や原材料価格の高騰は少し落ち着いてきている。
		輸送業（経営者）	取引先の様子	・自動車関連を中心に製造業では先行き不透明感が強まっているためか、資材調達に慎重な様子である。また、日系人や派遣社員の人員調整が始まっている。
		輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・日用雑貨の取扱量が、前年同月比で減少している。
		通信業（営業担当）	取引先の様子	・取引先の経営者との話では、相変わらず厳しい状況が続いている様子である。
		金融業（企画担当）	取引先の様子	・原材料価格の高騰分を販売価格に転嫁した結果、売上が減少している企業が多い。また、不動産の動きも鈍化している。
		広告代理店（制作担当）	取引先の様子	・企業の動きは停滞しており、新規の申込があまりない状況である。
		新聞販売店〔広告〕（店主）	受注量や販売量の動き	・折込広告の減少が続いている。
		会計事務所（社会保険労務士）	取引先の様子	・自動車関連企業の業績が、極端に悪化している。住宅建設も、依然として低迷している。その一方で、舗装工事業は順調である。全体としては、横ばいである。
やや悪く なっている	紙加工品〔段ボール〕製造業（経営者）	取引先の様子	・主要取引先企業の輸出量が北米向けを中心に減少しているため、梱包用段ボールの販売量が減少している。	
	化学工業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・販売量に、以前ほどの勢いが無い。	
	窯業・土石製品製造業（社員）	受注量や販売量の動き	・新規の見積では、原材料や燃料の価格上昇分を転嫁している。そのため、受注がうまく得られず、販売数量、金額共に減少している。	
	鉄鋼業（経営者）	受注量や販売量の動き	・鋼材単価の上昇は一服しているが、仕事量は減少している。大型物件の情報等が非常に少なく、先行き不安から単価を落として仕事を確保する企業が増えている。	
	一般機械器具製造業（経理担当）	受注量や販売量の動き	・量産製品の出荷が伸び悩んでいる。上期の業績は、原材料高も影響して、減益の見込みである。	
	一般機械器具製造業（営業担当）	受注量や販売量の動き	・機械受注量は、4～6月と比べて悪化している。	
	電気機械器具製造業（経営者）	受注量や販売量の動き	・販売先業界の景気が悪いため、販売量は低下している。	
	輸送用機械器具製造業（統括）	受注量や販売量の動き	・米国景気の停滞に伴って、主要取引先からの受注が減少している。	
	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	受注量や販売量の動き	・米国向けの輸出量が減少している。	
	輸送用機械器具製造業（財務担当）	取引先の様子	・取引先各社では、業績にかかわらず、新規増員の中止や派遣社員の削減、残業の全面禁止など、人件費の圧縮が始まりつつある。	
	建設業（総務担当）	競争相手の様子	・燃料価格の高騰による影響が大きく、厳しくなっている。	
	輸送業（エリア担当）	取引先の様子	・自動車製造業関連や設備投資関連の荷物量が、大幅に減少している。	
	通信会社（法人営業担当）	取引先の様子	・中小企業では、設備投資を抑制している。	
	会計事務所（職員）	取引先の様子	・競争に勝つため無理を承知で設備投資をして、期待通り売上が伸びず大赤字になっている企業がある。	
	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	取引先の様子	・製造業の減産による影響もあり、逆風が吹いてきている。	
悪く なっている	パルプ・紙・紙加工品製造業（総務担当）	受注量や販売量の動き	・原材料価格の高騰により、受注量、販売量共に減少している。その結果、利益も減少している。	

		輸送業（従業員）	受注価格や販売価格の動き	・今月から燃料サーチャージを依頼しているが、中小企業は比較的理解してくれるものの、大手メーカーはなかなか応じてくれない。そのため、大変厳しい状況となっている。
		輸送業（エリア担当）	受注量や販売量の動き	・これまで国際便で航空貨物を利用していた客が、船舶利用に変更する事例が増加している。
		広告代理店・新聞販売店〔広告〕	受注量や販売量の動き	・広告の出稿依頼件数や販売量は、4月から減少しているが、8、9月は前年同月比3割減と非常に悪くなっている。
		公認会計士	それ以外	・顧問先企業の業績は、一段と悪化している。倒産したり、廃業を検討する企業も増えている。
		経営コンサルタント	競争相手の様子	・都市部の商業地の投資物件の相場は、ピーク時の半分以上以下になっている。投資物件以外でも、値下がり傾向にある。
雇用関連	良くなっている	-	-	-
	やや良くなっている	-	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	求人数の動き	・求人数は、4月ごろから変わっていない。ただし、IT関係は先細りとなっている。
	やや悪くなっている	人材派遣会社（支店長）	求人数の動き	・求人数は、前年同月比70～80%で推移している。また、派遣社員の契約満了後の継続率は、前年同月比60～70%となっている。
		人材派遣会社（経営企画）	周辺企業の様子	・残業の抑制によって、人件費を削減する傾向が顕著になっている。
		人材派遣会社（営業担当）	採用者数の動き	・派遣の注文を抑える動きがある。
		人材派遣会社（営業担当）	求人数の動き	・企業のコスト削減により、人員抑制が始まっている。求人数は前年同月比で1割ほど減少している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・正社員の求人案件が、めっきり減少している。
		人材派遣会社（社員）	求人数の動き	・新規の派遣注文が減少している。また、派遣社員の増員計画もなくなっている。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求職者数の動き	・9月の一般求人件数は、前年同月比75%と、大きく落ち込んでいる。地域、雇用形態の区別なく、軒並み減少している。
		新聞社〔求人広告〕（営業担当）	求人数の動き	・自動車製造業の期間工募集が、ほとんどなくなっている。
		職業安定所（職員）	求職者数の動き	・在職中の求職者や自営業者からの就職相談件数が、増加してきている。
		職業安定所（職員）	採用者数の動き	・就職件数が減少している。企業では、採用計画を見直している。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数は、前年同月比25.2%と大幅に減少している。建設業、製造業、運輸業、卸売・小売業、飲食業、宿泊業、医療・福祉・サービス業の全てで、減少している。特に輸送用機械器具製造業では、前年同月比42.5%と大幅に減少している。
		職業安定所（管理担当）	求人数の動き	・新規求人数が減少している。有効求人倍率も、1倍は超えているが、低下傾向である。
		民間職業紹介機関（職員）	求人数の動き	・求人数は、約2割減少している。求職者数も増加している。
		学校〔大学〕（就職担当）	周辺企業の様子	・就職サイトを運営する会社から、企業の採用費が大幅に減少しているとの話を聞いている。
	悪くなっている	アウトソーシング企業（エリア担当）	雇用形態の様子	・大手メーカーの生産減少に伴い、新規の受注件数は大幅に減少している。
		職業安定所（所長）	採用者数の動き	・若者の採用件数の前年同月比は、今月になってマイナスに転じている。
		職業安定所（職員）	求人数の動き	・求人数の減少に、歯止めが掛からない。